



THE SERVICE CLUB OF YMCA  
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2023年3月

c/o YMCA  
MINAMI 11 NISHI 11  
CUO-KU SAPPORO  
〒064-0811  
011(561)5217

# 札幌クラブ

グリーン・プロジェクト ★ ワイズメネット

## — 主題 —

国際会長  
アジア会長  
東日本区理事  
北海道部部长  
札幌クラブ会長

「輝かそう、あなたの光を」  
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」  
「未来に向けていますぐ行動しよう」  
「出来ることから今すぐ行動しよう！」  
「Sustainable Y~中学生、高校生、ユースとともに~

Ulrik Lauridsen  
Chen Ming Chen(台湾)  
佐藤 重良(甲府21)  
小谷 和雄(札幌北)  
伏木 康(札幌)

## 札幌クラブ役員

会長 伏木 康  
副会長 中田 靖泰  
書記 小野 健  
会計 秋葉 聡志  
直前会長 柴田 伸俊

## 今月の言葉

なせば成る なさねばならぬ 何事も  
ならぬは人の 成さぬなり 上杉鷹山 (山崎修選)

「Sustainable 'Y' ~中学生、高校生、ユースとともに 札幌クラブ会長 伏木 康

## 1. Youth Involvement を持続させる：



今期のクラブ主題を考える時に、若者の成長を応援したいという思いから、表記のテーマを設定しました。中学生、高校生、ユースという世代に焦点を当て、彼らを海外や道内に送り出したり、グループ活動を支援したいというものでした。東山荘やユースリーダーフォーラムが開催される山中湖に私は行ったことがあります。若い人こそ富士山を見渡せる素晴らしい環境で交流してほしいのです。

## 2. チミケツプはYMCAの国際キャンプ場：

コロナ前はチミケツプ湖畔に海外から若者が集まって来ました。コロナの影響で国際キャンプが中止になったのは残念ですが、来年はキャンプ場の60周年を迎えます。今年の6月にはワイズメンやリーダーOBがキャンプ場に集まり、キャンプ整備のワークを行う予定です。

## 3. ウクライナ支援の可能性：

ウクライナは北海道と気候や自然環境が似ていると言われています。もし、チミケツプに来てくれるウクライナの方がいれば、北海道の中高生と一緒に野外でボルシチを作り、一緒にキャンプファイヤーが出来れば、素晴らしいと思います。

## 4. Y's x SDG's Youth Action 2022

全国での企画に、北海道のユースも参加してもらいたかったのですが、応募がありませんでした。採択された10のプロジェクトの中で高校生グループが提案したユニークなものがありました。今後は北海道でもYMCAやワイズが高校生グループと繋がりが持てるようになって、次のAction募集で複数の応募が出てくるといいと思います。



YMCA キャンパーの聖地  
「チミケツプ・キャンプ場  
メイン・ハウス」

2023年2月例会  
出席報告

在籍会員 9名 出席者 6名 メネット0名 メーキアツプ 2名  
ゲスト 2名 ビジター 4名 出席者合計 12名 出席率 89%

## 札幌・札幌北クラブ 2023年3月合同例会

日時：2023年3月22日（火）18:30～20:30  
会場：北海道YMCA 札幌市中央区南11条西11  
会費：500円

- |                    |    |              |
|--------------------|----|--------------|
|                    | 司会 | 秋葉 聡志        |
| ① 開会点鐘             |    | 伏木 康         |
| ② ワイズソング、ワイズの信条    |    | 全 員          |
| ③ 今月の言葉 & なぜこの言葉を  |    | 山崎 修         |
| ④ 開会あいさつ           | 会長 | 伏木 康         |
| ⑤ 誕生日 札幌北クラブ 3月12日 |    | 高杉 純二        |
|                    |    | 3月27日 藤川 幾久子 |
| ⑥ 結婚記念日 両クラブ       |    | なし           |
| ⑦ 卓話               |    |              |

### 「アジア・ユースコンボ報告」

とちぎYMCA 川口 夏菜子様

- |             |          |           |
|-------------|----------|-----------|
| ⑧ 諸報告       |          |           |
| ⑨ YMCA報告    | 担当主事     | 北川 佳治     |
| ⑩ 札幌クラブ報告   | 札幌会長     | 伏木 康      |
|             | 札幌北クラブ報告 | 北会長 小谷 和雄 |
| ⑪ 今月の歌 「乾杯」 |          |           |

作詞・作曲 長渕 剛

(小野健 選)

- |        |          |       |
|--------|----------|-------|
| ⑫ 閉会挨拶 | 札幌北クラブ会長 | 小谷 和雄 |
|--------|----------|-------|

### 次期部長・会長研修会報告 次期会長 小野健



3月4日～5日に静岡県御殿場のYMCA 東山荘で開催された、2022-2023年度の東日本区の次期会長・部役員研修会に参加しました。私自身実は札幌クラブの活動以外のこのようなイベントに参加したことはなく、今回が初めて、周りは人生の大先輩の方々ばかりで

プロ野球オールスターに出場したルーキー選手のようにでした。研修会に参加して、ワイズメンズクラブの組織とその機能を理解することができましたし、クラブ会長の職責、各クラブの抱える問題や様々な活動を知る素晴らしい機会でした。研修会を通じて、山田次期理事をはじめ、北海道の各クラブの皆さま（今回は十勝の中村さん、池田さん、山下 LT 委員長、北見の二本松さんとご一緒させていただきました）、東日本区のほかのクラブの皆さんと出会うことができました。皆さん、人生を楽しみながら、学び、地域や社会に貢献されている素晴らしい方々です。山田次期理事の掲げる「Well Being」のコンセプトで、札幌クラブの皆さんがクラブライフを楽しみ充実することができるような活動を目指して、少しでも会長職を頑張っていきたいと改めて思ったところです。

(私自身もちろん楽しんでいきます!)

### ワイズベル杯報告 直前会長 柴田伸俊

- 日程：2023年3月31日（土） 9:00～13:00
- 参加者：中田、秋葉、柴田、柴田メネ、北川（札幌北）小谷会長

2年ぶりの発表会でしたがまだまだコロナ禍の為、2部制の対策を取りながら行われました。子ども達は保護者の暖かい応援を受けながら、それぞれの記録に挑戦した熱気のある大会となりました。1部は小谷会長にメダル授与をお願いし、2部は柴田会員がメダル授与とY'sベル杯贈呈を行いました。

ワイズコーヒーコーナーはアイスコーヒーと飴コーナーを設置し、2～3の子供たちがゴミ袋設置や看板張りを手伝ってくれ、父兄にコーヒーサービスの案内までやってくれたホッコリの時間でした。



栄えの「優秀賞授与」

左：1部、小谷札幌北ク会長  
右：2部、柴田札幌ク直前会長

### 何故この言葉を 山崎 修

江戸時代の米沢藩主上杉鷹山の言葉です。「どんなことでもやろうと思えば努力すれば、必ず実現できる。逆に、無理だと思えばあきらめ努力をしなければ、絶対に実現できない」という意味です。あまりにも有名なことばですが、今の日本にはとても大切な言葉なので今月の言葉にさせていただきました。野球WBCが今大注目ですが、サッカーしかりですが、今大活躍している選手の源流をたどると、「巨人の星」にあこがれた野球少年たちの夢のつながりが、今の日本選手の活躍につながっているのかなと思います。『米沢藩の財政は多額の借金でどうにもならない状態であった。しかし、鷹山は決してあきらめることなく、藩主自ら荒れ地にクワを下ろして新田開発を進め、漆の実を植えて十年先の産業振興をはかった。また、田にはコイを飼うようにすすめて緊急の場合の食料源とした。さらに、荒れ地に桑を植えさせ養蚕業を盛んにしたが、それが後に米沢織として大きな収入源となっていた。若き身でありながら、多に知恵を使ったわけである。』

## 2月例会卓話 ユダヤ人と北海道を救った恩人樋口季一郎 札幌市議員 篠田江里子

私の好きな祖父樋口季一郎の写真を2枚お見せ致します。右のスーツ姿の写真は1925年 ポーランド公使館駐在武官であった頃、人脈を広げるために社交界にデビューし、ワルツの名人と言われた頃の写真です。左下の1枚は1960年頃、季一郎が72歳神奈川県大磯町で祖母と老後生活を送っていた頃の写真です。

一昨年この写真が親類宅から出てきました。私が10歳、一緒に海水浴にいったことがあり、こんなひょうきんな顔も見せていたのです。私が覚えている樋口季一郎というのは、いつも和服を着て、本当に読書家、勉強家で、いつもロシア語の本を読んでいた。

特務機関などの役職についていたとのこと、語学に関しては非常に長けており、ロシア語もちろんですし、ポーランド語、フランス語、英語も堪能だったと思います。軍人でありながら、外交官と同様の仕事をしていたものと思われま。ロシア語のトルストイの本が大好きで、自分なりの読書感というものを残していたようです。ですから私が祖父に会いにいても、そのような姿しか見てなかったのです。

その後、祖父母は東京都文京区白山の長男である叔父の家で晩年を暮らすこととなります。1968年には札幌護国神社で行われたアツ島玉砕雄魂之碑の除幕式に祖父が行くこととなります。その時は80歳ぐらいで、体力的にもかなり衰えていたと思われま。とにかくアツ島玉砕に関しては、強い思いがありましたので、何とか除幕式に参加したい思いから、医者をしていた叔父と共に参加しました。そしてそれから2年後の1970年10月11日に老衰で亡くなりました。孫の私には、戦争の話は全くいたしませんでした。

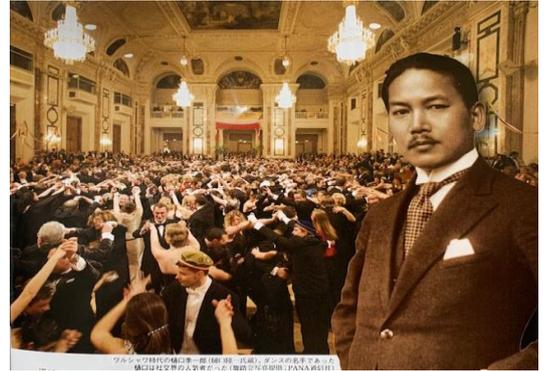
樋口季一郎がどんなことをしてきたかというのは、亡くなった時に朝日新聞1面に大々的に樋口季一郎の死を悼む記事が出て、初めて樋口季一郎が何をしてきた人なのかということを知ったというのが実情でした。終戦後、進駐軍への引継ぎも終え、電気も水もない北海道小樽市朝里で隠遁生活を送っていたこともありま。孫に苦言を呈すわけでもなく、ただ本を読んでいる姿しかない。朝、夕には、家の中に飾ってあるアツ島の水彩画に必ず頭を下げている姿を、私は覚えています。

## まだ終わっていなかった戦争 占守島の戦い

2018年11月3日、知人が主催する会で、従兄の隆一が札幌で初めて講演することになりました。そこに占守島のご遺族が参加されていました。占守島の戦いは、1945年8月18日にソ連が占守島に奇襲攻撃してきた戦争です。北部軍司令官の樋口季一郎は独断で断固反撃せよと命令しました。どう考えても8月15日を過ぎて戦火を交えなければならなかったということに関して、ご遺族は納得できなかったとのことでした。しかし占守島の戦いがなければ、ほぼ間違いなく北海道は北半分がソ連に取られていたと思います。占守島で戦ってくださった方たちがいらしたからこそ、今の北海道があり、日本の平和があるのだということに従兄の樋口隆一がお話をさせていただいて、ご遺族は自分の父親の死が「無駄死」ではなかったのだと納得をされ涙を流されました。隆一はその姿を見て、改めて自分がしっかり語り継がなくてはならないと思、「樋口季一郎の遺訓」の執筆に繋がりました。遺訓のベースは季一郎三女不二子の夫橋本嘉方が季一郎没後季一郎直筆の原稿を自らワープロで自費出版し、

その後を甥の隆一に託したものです。隆一はその年のイスラエル建国70周年に現地日本大使館に招かれ、祖父について講演しており、その際ユダヤ人生存者の家族と語る人に声をかけられ、「あなたのおじいさんがいなければ、私はここにいない。」と言われたそうです。日本にとって戦後75年ぐらいまでは軍人というものは、マイナーな存在だったと思うのですが今、この日本国を考える時に戦争中の軍人の働きというものを改めて知るべき時だと思。ロシアによるウクライナ侵攻から1年が経ち、第3次世界大戦の様相を呈してきました。改めて日本を囲む中国、ロシア、北朝鮮を考える際には78年前の戦争を振り返ることが必要なのではと考え、樋口季一郎のような軍人がいたことを知っていただければ幸いです。

(お詫び：左の写真がどうしても横になってくれません。ブリテンを横にして御覧下さい。編集部。YN)



## YMCAニュース 担当主事 北川 佳治

## ① 卒園式・卒業式（全日制）

3月12日（日）に札幌 YMCA 英語・コミュニケーション専門学校の卒業式が札幌 YMCA 会館にて行われ 13名の生徒が卒業となりました。また、3月19日（日）には YMCA 幼稚舎の卒園式が行われる予定で 21名の園児が卒園となります。

コロナ禍で制限の多かった年代でありましたが、それでも同じ時を共にした仲間や先生はかけがえのない宝物になることと思います。YMCA に在籍した数年間の経験が、YMCA を羽ばたいた後の皆さんの飛躍に繋がることをスタッフ一同お祈りしています。



Yを飛び立つ  
若鳥たちに幸  
多かれと！

マスク掛けの最後の卒業式となりますように！

## ② ワイズベル杯水泳発表会

3月5日（日）に3年ぶりの開催となったワイズベル杯水泳発表会が札幌 YMCA プールにて行われました。本発表会には、2歳児から中学生までの総勢70名の参加がありました。コロナ禍で、練習なども普段から家族に見てもらえる機会が少なくなっており、また発表会・大会形式のイベントは一切開催できていなかったため、その分を取り戻すかのように、保護者からは大きな拍手や優しい声援が響き、メンバーは水を得た魚のごとく、力の限り素晴らしい泳ぎを見せてくれました。本発表会は、毎年、札幌ワイズと札幌北ワイズに協同で支援を行っていただいております。また、札幌ワイズにはコーヒーコーナーも開いていただき保護者に振舞っていただいております。来年度も継続して青年たちの活躍の機会をつくっていただけるように、ワイズの皆さんと協同してまいります。

（「ワイズベル」の写真は p. 2 をご覧ください。）

## ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. う。世界的視野をもって、国際親善をはかる
4. 義務を果たしてこそ、  
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、  
社会には奉仕第一を旨としよう。

## 札幌クラブ2月事務会報告

日時： 2023年2月27日（火）19:00～20:00

（対面・オンライン☆併用開催）

出席： 伏木（長）、柴田、中田☆、小野☆、山崎☆、宮崎☆、北川

- ① **フリテン3月号**：担当確認。原稿締切3月15日
- ② **2月例会・卓話資料**（冊子等）について、オンライン参加者へは3月例会時に渡す。
- ③ **次期会長研修会**（3月4日-5日 東山荘）：  
小野次期会長が参加。（旅費 50,000 円支給）
- ④ **ワイズベル杯**（3月5日）：  
参加者：柴田、中田、秋葉、柴田メネット  
・ワイズコーヒーコーナーは設置する。（アイスに変更）  
1部 9:00-10:30 担当 → 北ワイズ（小谷）  
2部 11:00-13:00 担当 → 札幌ワイズ（柴田）
- ⑤ **キッズダンス発表会**（3月21日 12:30-13:30）：  
・YMCA として初の試みであるキッズダンス発表会に対する支援依頼（10,000 円）を受け、支援を承認した。  
・ワイズコーヒーの設置は行わない。  
・予算として可能であれば、参加メンバー向けのスポーツドリンクをワイズ提供として配布したいとのことで、5,000 円の追加希望が出ている。
- ⑥ **3月例会日時変更**：  
3月21日（火）祭日の為、3月22日（水）に変更。  
・開始時間も 19:00-20:30 変更する。  
・卓話者：アジアユースコンボ報告（とちぎ YMCA スタッフ川口夏菜子さん）  
・川口さんの謝礼については、北海道の物産を送る。
- ⑦ **例会へ招待**： 入会候補の渡辺大輔、高村茂生、本宮大輔に3月例会招待案内を送る。
- ⑧ **例会オンライン参加者の会費**： 500 円徴収は概ね賛成であるが、5月以降の YMCA 内食事の件もあり、次回持越し。
- ⑨ **4月例会（4月18日）**：  
・卓話者：星野紀子さん 司会： 小野 健。（ブルキナフソとのオンライン）
- ⑩ **5月例会案（5月16日）**： ・同盟スタッフの杉野さんに世界大会レポート&ビジョン2030に関しての卓話を依頼できないか依頼を行う。（秋葉）
- ⑪ **例会食事の復活**：  
5月例会から YMCA 内での食事を復活させる。
- ⑫ **チャリティラン**： ・5月中の開催予定
- ⑬ **6月例会案（6月20日）**：  
・汝羊寮を会場としてキャンドルサービス例会  
・武蔵理事長を招いて学生 YMCA に関する卓話。
- ⑭ **東日本区献金**：  
・2022-2023 年度各種献金 30,000 円の献金承認  
・トルコ地震に対する支援募金 次回以降検討
- ⑮ **札幌北クラブとの合併**： ・合併案を承認
- ⑯ **YMCA 英語コミュニケーション専門学校への支援**：  
・10,000 円の支援を承認  
・伏木会長が卒業式に列席する。

記録者：北川